

宮崎女子短期大学紀要 第25号 159~173頁

野菜と保育

矢 口 裕 康

Vegetable and Child care

Hiroyasu YAGUCHI

1. やさい保育の切掛け

子どもと野菜の関係を考えるようになった切掛けは、紙芝居の最後の場面からである。その紙芝居は、やべみつのり画・桜井信夫脚本の『なんだろう？』である。この紙芝居、物のシルエットをみせ、なんだろうと見てる者に問い合わせる形をとっている。最初りんごのシルエットから始まって、最後、図1のような場面へとなる。当初気にならなかったのであるが、かごが2つあり、どうも野菜と果物にわけているように思われる。と思い、見直してみると、むかって左側の野菜のかごに〈じゃが芋・大根・人参・きゅうり・とうもろこし・かぼちゃ〉が入っている。そして問題は右側の果物のかごである。このかごの中にりんご・ぶどう、そしてトマトが入っている。



図1.『なんだろう？』

トマト、私の感覚からすると野菜なのだが、果物のかごへである。ちなみに、トマト、『大辞林(第2版)』(松村明編、1995年 三省堂刊)では、次のような物とされている。「トマト [tomato] ナス科の1年生作物。南アメリカ熱帯地方原産の多年草。日本では明治以降栽培が始まり、大正末頃一般化した。高さ約1メートル。葉は羽状複葉。茎・葉は軟毛を密生する。花は黄色。果実は卵円形から扇球形で赤・紅・黄色などに熟し、多肉質多汁で甘酸味がある。生食するほか、ジュース・ピューレ・ケチャップ・ソースなどを作る。多くの品種がある。蕃茄ばんか。あかなす。園夏」とある。学生に、トマトは野菜か果物か問うてみると、かなりの数の学生が果物と認識している。そのこともあって作者は果物のかごへいたのであろうか。ここで、かさいという表現へと辿りつく。どうもトマトは果菜であるが、このことも果物のかごへといれたくなる一因のようである。野菜、青物、果物、そして花菜・果菜と野菜関連の表現が『国語辞典』上には、このように記されているという興味へと拡がった。(国語辞典上にみるやさい参照)

やさい (野菜) 副食にするために畑などに作る植物。あおもの。

(青物) □野菜類の総称。□青魚 (ザカナ)。

→かさい [根菜類・葉菜類に対して]

□ (花菜) 花の部分を食べる野菜。

例: カリフラワー・ブロッコリー・ふきのとうなど。

□ (果菜) 実の部分を食べる野菜。

例: ナス・キュウリ・カボチャ・トマト・シットウ・オクラなど。

→こんさいるい (根菜類)

ダイコン・ニンジン・カブ・サトイモ・レンコンなど、おもに根を食用とする野菜。

↔ 葉菜類。

→ようさいるい (葉菜類)

ホウレンソウ・キャベツ・白菜・小松菜など、茎や葉を食用とする。↔ 根菜類。

(参考)

くだもの (果物)

〔木の物の意という〕生のままで食べる草木の実のうち、甘いもの。水菓子。フルーツ。

〔古く、狭義ではコウジミカンを指し、広義では菓子一般を指した〕

みずがし (水菓子) くだもの。

フルーツ (frutis) [食膳に供せられる] くだもの。

国語辞典 (『新明解国語辞典・第三版』) にみるやさい

一人の人間が、子どもの前にたち保育をするということは、このような自分自身の器の拡がり、ひきだし創りをしてではないだろうか。このような野菜関連に対しての認識の幅をもち、子どもの前にたつと、少しほは、この『なんだろう?』の最後の場面の二つかごに対して、もし子どもが疑問をもったとしたら、答えてあげることが出来るのではないだろうか。

このことも切掛けとなり、子どもと野菜をどう保母がかけ橋となりつないでゆけばよいのかを考えるようになった。本考では、その一端を、1997年度前期・保育科2年生<保育内容 言語指導法>の授業をとおして、学生と見出していった結果を参考として、具体化してゆきたい。

0～6歳の子ども時代 野菜との出会いがさまざまな場面で出現しそうが、保育の場面でも佳い切掛けを準備してあげればと思っての授業でもある。その子どもと野菜の出会いの場面の一つとして、野菜に関する絵本・紙芝居が存在している。これらも素材の一つとして活用しての保育も実現する必要があろう。その際、野菜と保育を実践してゆく保育者が、野菜そのものに、どのような意識をもっているかをおさえておく必要があろうと思っての授業展開である。

2. 学生のしっている野菜

授業「野菜と保育」は、表1のように展開された。先ず学生に自分のしっている野菜を無作為にあげてみなさいと聞いてみると、表2のような結果となった。72人の学生の結果であるが、野菜名が一番少ない学生が8個であったのに対して55個をあげた学生もいた。学生の家庭環境等もあろうが、この野菜名の幅には少し驚きを感じたしだいである。50個以上の野菜名をあげた学生は3人おり、意外と多くの野菜名を認識していることにも驚きを感じたしだいである。(表3参照)

表1 授業「野菜と保育」の展開

(参加者・保育科2年 Aクラス36人 Bクラス37人 科目等履修生1人 計74人)

| | 授業のポイント | 授業中とりあげた本 | | | |
|------|---|--|---|---|---|
| 4.14 | <ul style="list-style-type: none"> 自分のしっているやさいをすべてあげてみよう。→そのやさい名をあげる際、表音につながる表字も考えて表記してほしいことも指示する。 そのうちの一点を絵で表現してみよう。そして、どうして、その野菜なのかの理由も具体化してみよう。 | <table border="1"> <tr> <td>裏</td><td>背</td><td>表</td></tr> </table> | 裏 | 背 | 表 |
| 裏 | 背 | 表 | | | |
| 4.21 | <ul style="list-style-type: none"> なすはなすびもある授業。→学生のやさい名の中に「なす」「なすび」が混在していたのをうけて。 絵本はおもて表紙に、やさいを一点描くとしたら何を描くか。 | 『日本語相談一』(朝日新聞社) <「ナスビ」は「方言だから誤り」ですか 岡山市・秋山久子の質問→回答者・大岡信> | | | |
| 4.28 | <p>B3版の用紙を学生に渡し、絵本の表・裏・背びょうしの形を自分なりに考えてみる。</p> <p>その際、</p> <ul style="list-style-type: none"> さく——、——さくまでどこかに考えていれる。 タイトルをあとでつけるので、そのスペースも考えておく。 右びらき、左びらき等、本のひらき方も考えてつくる。 やさい一点ではなく、何点かでもよいのかとの質問があったので、複数のやさいを描いてもよい形とする。 また、枠でかこったり、土を描いてもよい形とする。 <p>(5月12日まで表びょうしのみ完成することを提示する。)</p> | 『やさいのおなか』(福音館書店) 1984年版・1997年版 | | | |
| 5.12 | 野菜にかかわる絵本をとおして、保育を具体化する。 | 『やさい』と同タイトルの絵本 (平山和子さく・福音館書店、川上越子さく・鈴木出版) | | | |

| 授業のポイント | | 授業中とりあげた本 |
|---------|---|---|
| 5.26 | 男の詩人まどみちおのやさい絵本からやさいと保育を考える。 | 平川, 川上『やさい』の再読。 『いっぱいやさいさん』 (至光社) 3場面まで。→まどの表現を自分なりにうけとりながら。 『14ひきのかぼちゃ』(童心社) |
| 6.23 | (3週間の幼稚園実習を経ての授業) 先ずは自分なりによみとる(自分がよむ)→他の人のよみとりに耳を傾ける(あなたたちのよみ)→をして自分のよみを形づくる(自分のよみ)。絵本によみ手の息づかい(命)もふきこむよみをめざす。 『14ひきのかぼちゃ』を素材として •先ず、かぼちゃを食材とした料理を考えた上で •今森光彦「腹ばいになった視線」(『母のひろば』1997.5.15発行)をよみこんだ上で •絵本よみ | |
| 6.30 | 幼稚園実習3週間を経た上での •給食の日・弁当の日のわりあい •野菜を食することに対する園、家庭の取り組みは •野菜をつくる、たべる、あらわす保育への取り組みはを実習園から見出してみる。 | 『たまねぎ』(フレーベル館) 『いっぱいやさいさん』6場面まで。 |
| 7. 7 | •野菜から保育・子ども・ことば・ことばかけそして保育者を考える。 •保育者の一人としての実習生という立場からの子どもの視線を見出してみる。 | 『やさいたちのうた』 (福音館書店) 5場面まで。 |
| 9. 1 | •すいかは野菜か。 •すいか絵本からすいかをとらえてみる。 •9月8日までに絵本の表・裏・背びょうし、タイトルもつけ——さく(作)もかきこみ完成する。(4月28日スタートの試み) | 『すいか』(福音館書店) 『ありとすいか』 (リブロポート) |
| 9. 8 | •『やさいたちのうた』さいごのカットを残し読み、耳でうけとめた上、場面の絵をみせ、よむ。 •『いっぱいやさいさん』さいごまでよむ。 •私のもってくるすいか本、あと一冊『おおきなすいか』をよむ。 | 『やさいたちのうた』 『いっぱいやさいさん』 『おおきなすいか』(童心社) |

表2 自分のしっている野菜名

(1997年4月14日授業 72名参加)

*注()内は人数をあらわす。

| | | |
|-------|--|-----|
| 10個以下 | 8 (1) | 1人 |
| 10個台 | 13 (2), 15 (1), 16 (3), 18 (1), 19 (2) | 9人 |
| 20個台 | 20 (6), 21 (2), 22 (4), 23 (7), 24 (6), 25 (5), 26 (1), 27 (1), 28 (2), 29 (3) | 37人 |
| 30個台 | 30 (2), 32 (3), 33 (1), 34 (2), 35 (2), 36 (2), 37 (1), 38 (2), 39 (2) | 17人 |
| 40個台 | 42 (1), 45 (1), 48 (1), 49 (2) | 5人 |
| 50個台 | 51 (2), 55 (1) | 3人 |

表3 学生のしっている野菜名と絵

*注 表中○はAの表現と同名を表す

*注 作者名()は表紙にとりあげられた野菜を表す

| 55種あげた学生 | 51種あげた学生 | | | 3人の共通野菜 | 絵に表現した野菜 | 絵本の表びょうしを考えての野菜 | 絵本『やさい』にとりあげられた野菜 |
|----------|----------|---------|--|------------|----------|-----------------|-------------------|
| A | B | C | | | | | |
| キヤペツ | | ○ | | | | 1人 | 平山和子 |
| 人 参 | にんじん | にんじん | | 9人 | | 6人 | 川上越子(平山) |
| レタス | ○ | ○ | | | | | |
| アスパラガス | アスパラ | ○ | | | | | |
| トマト | ○ | ○ | | 13人 | | 16人 | 平山・川上(みにとまと) |
| きゅうり | ○ | ○ | | 3人 | | 2人 | 川上(平山) |
| しょうが | | | | | | | |
| ホウレン草 | ほうれん草 | ほうれんそう | | | | 1人 | 平山・川上 |
| 白 菜 | はくさい | ○ | | | | | |
| 玉ねぎ | 玉ネギ | ○ | | | | 3人 | |
| ねぎ | ネギ | ○ | | 1人 | | | |
| たけのこ | ○ | 竹の子 | | 1人 | | | |
| しいたけ | ○ | ○ | | 1人 | | 1人 | |
| しめじ | ○ | | | | | | |
| えのき | ○ | えのきだけ | | | | | |
| わらび | ○ | | | 1人 | | | |
| じゃがいも | ○ | ○ | | 2人 | | | 川上(平山) |
| なすび | ○ | ○ | | なすび10人なす5人 | | 12人 | 川上(平山) |
| (ばれいしょ) | | | | | | | |
| さつまいも | ○ | | | 1人 | | 1人 | 平山・川上 |
| 山いも | ○ | | | | | | |
| かぼちゃ | | ○ | | 3人 | | 6人 | 川上(平山) |
| セロリ | ○ | | | | | | |
| ブロッコリー | ○ | ○ | | | | | |
| にら | ニラ | | | | | | |
| (からいも) | | | | 1人 | | | |
| にんにく | ニンニクの芽 | | | | | | |
| さやえんどう | ○ | ○ | | 1人 | | | (平山) |
| 大根 | ○ | ○ | | 1人 | | | 平山・川上 |
| かぶ | | | | | 赤かぶ1人 | | (平山) |
| 大葉 | | | | | | | |
| パセリ | ○ | ○ | | | | | |
| ごぼう | ○ | ○ | | | | | 川上 |
| れんこん | ○ | ○ | | | | | |
| もやし | ○ | ○ | | | | | |
| ピーマン | | ○ | | 6人 | | 6人 | 川上(平山) |
| わけぎ | | | | | | | |
| ちんげん菜 | チングエン菜 | チングエンサイ | | | | | |
| なつば | | | | | | | |
| グリーンピース | ○ | | | 2人 | | 1人 | 川上(えんどうまめ) |
| かいわれ大根 | カイワレ | | | | | 1人 | |
| とうもろこし | ○ | ○ | | | | 1人 | 川上 |

| 55種あげた学生 | 51種あげた学生 | | | 3人の共通野菜 | 絵に表現した野菜 | 絵本の表ひょうしを考えての野菜 | 絵本『やさい』にとりあげられた野菜 |
|-----------|----------|------|--|---------|----------|-----------------|-------------------|
| A | B | C | | | | | |
| えだまめ | | | | | | | |
| オクラ | | | | | | | |
| カリフラワー | ○ | ○ | | | | | |
| こまつな | ○ | コマツナ | | | | | |
| とうがらし | | ○ | | | | | |
| にがごり | | | | | | | |
| せんまい | | | | | | | |
| ふき | | | | | | | |
| みつば | ○ | | | | | | |
| さといも | ○ | ○ | | | | | 川上 |
| つわ | | | | | | | |
| つくし | | | | | | | |
| うり | | | | | | | |
| 長ネギ | | | | | | | |
| ちようせんニンジン | | | | | | | |
| アルファルファ | | | | | | | |
| サニーレタス | | | | | | | |
| みずな | | | | | | | |
| きぬさや | | | | | | | |
| すいか | スイカ | | | 4人 | | 4人 | |
| おやし | | | | | | | |
| まいたけ | ○ | | | | | | |
| まつたけ | ○ | | | | | | |
| マッシュルーム | ○ | | | | | | |
| いんげん | インゲン | | | | | | |
| 赤いも | | | | | | | |
| しそ | 青じそ | | | | | | |
| ヤングコーン | | | | | | | |
| | 空豆 | | | | | | |
| | 芋 | | | | | | |
| | 高菜 | | | | | | |
| | ケール(青汁) | | | | | | |
| | モロヘイヤ | | | | | | |
| | 豆もやし | | | | | | |
| | 赤キャベツ | | | | | | |
| | 春ぎく | | | | | | |
| | 長ねぎ | | | | | | |
| | すずしろ | | | | | | |
| | なづな | | | | | | |
| | せり | | | | | | |
| | ほとけのざ | | | | | | |
| | ごきょう | | | | | | |
| | はこべら | | | | | | |

表3を一見してわかるように、55個の野菜名を指摘した学生中、さつまいもやじゃがいもの異名ばかりいしょも含まれてではあるが、3人の学生のあげた野菜名は85種とかなりの野菜を認識しているといえる。そして、85種の野菜名の中で重なった野菜は、人参、レタス、アスパラガス、トマト、きゅうり、ホウレン草、白菜、たまねぎ、ねぎ、たけのこ、しいたけ、えのきだけ、じゃがいも、なすび、ブロッコリー、さやえんどう、大根、パセリ、ごぼう、れんこん、もやし、ちんげん菜、とうもろこし、カリフラワー、こまつな、さといもの26種で、ほぼ半数にあたる。50種以上の野菜名を指摘していた学生は、半数は重なりをみせながら、それ以外は異同がある。やはり宮崎県という生活環境ゆえの結果といってもよからう。この宮崎県らしいということは、55個の野菜名をあげた学生からもいえる。

自分のあげた野菜名のうちの1つを、絵で表現してみようとしたと提示すると、わらびを描いた。(図2参照) わらびを選んだ理由として、「母が先日、友達とわらびとりに行き、たくさんとってきたので水につけてあるのを一本押借して絵を書きました。わらびは横にいっぱいしている方がいいのかと思っていましたが、上に3本ぐらいついている方がいいんですね。この絵をかいて1つ勉強になりました」としての、わらびであった。わらびが生活している周辺にあるゆえの、自分にとってしほった野菜の1つとして描いたのである。



図2

——自分のしつている野菜名のうち1点絵として表現した野菜・19種類——
(1997年4月14日授業)

| | | | |
|----------------|-----|---------|-----|
| なす | 5人 | なすび | 10人 |
| トマト | 13人 | | |
| にんじん | 9人 | | |
| ピーマン | 6人 | | |
| たまねぎ | 5人 | | |
| スイカ | 4人 | | |
| きゅうり | 3人 | | |
| かぼちゃ | 3人 | | |
| えんどうまめ・グリーンピース | 1人 | グリーンピース | 1人 |
| じゃがいも | 2人 | | |
| からいも | 1人 | さつまいも | 1人 |
| わらび | 1人 | | |
| たけのこ | 1人 | | |
| さやえんどう | 1人 | | |
| ねぎ | 1人 | | |
| 大根 | 1人 | | |
| しいたけ | 1人 | | |
| (メロン、レモン) | | | |

表4 やさい絵本

| 書名 | やさい | ねずみのいもほり | 14ひきのやまいも | やさいのおなか | げんきなやさいたち | たまねぎ | やさいたちのうた |
|---------|---------------------------------------|--------------------|------------|------------|---|----------------------|-----------------------------|
| 発刊年 | 1977.10.1 | 1984.8 | 1984.7.20 | 1984.10 | 1986.6.20 | 1986.9.1 | 1987.11.1 |
| 出版社名 | 福音館書店 | ひさがたチャイルド | 童心社 | 福音館書店 | こぐま社 | フレーベル館 | 福音館書店 |
| 作 者 他 | 平山和子 (作)山下明生 (絵)岩村和朗 | (作)山下明生 (絵)岩村和朗 | いわむらかずお | きうちかつ | 小田まゆみ | (指導)安斎一義 (絵)鶴田修 | (詩)藤富保男 (絵)谷口広樹 |
| 表びょうし | かぼちゃ | さつまいも | (14ひきのねずみ) | かぼちゃ | (裏びょうしと一体) | たまねぎ10個 とたまねぎ半分1個 | きゃうり、たまねぎ、にんじん、じやがいも、とまと |
| 扉びょうし | (だいこん畑) | (絵なし) | (絵なし) | なし | (畑をほるシャベルの絵) | たまねぎ8個 | かごの中にたまねぎ5個 |
| 裏びょうし | じゃがいも、とまと、なす、かぶ、ぴーまん、にんじん、きゅうり、さやえんどう | さつまいも | (14ひきのねずみ) | 12種類の野菜断面図 | きやべつ、れいか、ぴーまん、きゅうり、とまと、なす、にんじん、とうもろこし、かぼちゃ、らでつしゅ、ぶろっこりー、はーぶ | たまねぎ半分 | れんこん、かぼちゃ、なす、だいこん、たけのこ、きやべつ |
| とまと | ○ | | | ○ | ○ | | ○ |
| きゅうり | ○ | | | ○ | ○ | | ○ |
| かぼちゃ | ○ | | | ○ | ○ | | ○ |
| にんじん | ○ | | | ○ | ○ | | ○ |
| さつまいも | ○ | ○ | | ○ | ○ | | |
| たまねぎ | | | | ○ | ○ | 色々 | ○ |
| なす | ○ | | | | ○ | | ○ |
| じゃがいも | ○ | | | | ○ | | ○ |
| ぴーまん | ○ | | | ○ | ○ | | ○ |
| きやべつ | ○ | | | ○ | ○ | | ○ |
| だいこん | ○ | | | | ○ | | ○ |
| ほうれんそう | ○ | | | | ○ | | |
| とうもろこし | | | | | ○ | | |
| えんどうまめ | ○ | | | | ○ | | |
| たけのこ | | | | ○ | | | ○ |
| れんこん | | | | ○ | | | ○ |
| ねぎ | | | | ○ | 色々 | | |
| らでいっしゅ | | | | | ○ | | |
| かぶ | ○ | | | | ○ | | |
| せろり | | | | | | | |
| れたす | | | | | | | |
| むかご | | ○ | | | | | |
| やまいも | | ○ | | | | | |
| くりたけ | | ○ | | | | | |
| ばせり | | | | | | ○ | |
| れもん | | | | | | ○ | |
| にんにく | | | | | | ○ | |
| らっきょう | | | | | | ○ | |
| ねぶかねぎ | | | | | | ○ | |
| はねぎ | | | | | | ○ | |
| にら | | | | | | ○ | |
| ごぼう | | | | | | | |
| さといも | | | | | | | |
| おくら | | | ○ | | | | |
| ぐりーんぴーす | | | | | | | |
| あすばらがす | | | | | ○ | | |
| はーぶ | | | | | ○ | | |
| さやいんげん | | | | | ○ | | |
| しだとう | | | | | ○ | | |
| あかかぶ | | | | | ○ | | |
| ぶろっこり | | | | | ○ | | |
| めきやべつ | | | | | ○ | | |
| はくさい | | | | | ○ | | |
| すいか | | | | | ○ | | |
| 種類 | 13 | 1 | 3 | 12 | 25 | 8 | 11 |

| | | | | | | | |
|---------|---------------------|---------------------|----------------|---|--------------------------|---------------------------|-----------------------|
| 書名 | かぼちゃ | いっぱいやさいさん | トマトのひみつ | やさい | 14ひきのかぼちゃ | あいいきもち | 13 点の絵本の中でとりあげられた数 |
| 発刊年 | 1989. 9. 1 | 1992 | 1994. 8. 1 | 1995. 5. 5 | 1997. 4. 25 | 1998. 7 | |
| 出版社名 | フレーベル館 | 至光社 | 福音館書店 | 鈴木出版 | 童心社 | 福音館書店 | |
| 作 者 他 | (指導)板木利隆 (絵)内藤貞夫 | (文)まどみちお (絵)齊藤恭久 | (文・写真) 山口 進 | (作・絵) 川上越子 | いわむらかずお | しまづかずこ | |
| 表びょうし | かぼちゃ1個 | とまと | 完熟とまと | とまと、なす、 じゃがいも、か ぼちゃ、ほうれ んそう、さとい も、みにとまと (青いのも) | (14ひきのねず み) 花のかぼちゃ | にんじん、きゅ うり、とまと | |
| 扉びょうし | かぼちゃの花 | かぼちゃの白ぬ きの形 | (とまと畑) | さつまいも | (絵なし) | なし | |
| 裏びょうし | かぼちゃ3個 | (絵なし) | とまとのはじめ | えんどうまめ | (14ひきのねず み) 花のかぼちゃ | せろり、にんじ ん、きゅうり、 とまと | |
| とまと | | ○ | ○ | ○(みにとまと) | | ○ | 8 |
| きゅうり | ○ | ○ | | ○ | | ○ | 8 |
| かぼちゃ | 色々 | ○ | | ○ | ○ | | 8 |
| にんじん | | ○ | | ○ | | ○ | 7 |
| さつまいも | | | | ○ | | | 5 |
| たまねぎ | | ○ | | | | | 5 |
| なす | | なすび | | ○ | | | 5 |
| じゃがいも | | ○ | | ○ | | | 5 |
| ピーマン | | ○ | | ○ | | | 5 |
| きやべつ | | | | | | | 4 |
| だいこん | | | | ○ | | | 4 |
| ほうれんそう | | ○ | | ○ | | | 3 |
| とうもろこし | | ○ | | ○ | | | 3 |
| えんどうまめ | | | | ○ | | | 3 |
| たけのこ | | | | | | | 2 |
| れんこん | | | | | | | 2 |
| ねぎ | | | | | | | 2 |
| らでいっしゅ | | ○ | | | | | 2 |
| かぶ | | | | | | | 2 |
| 登場 | | | | | | ○ | 1 |
| せり | | | | | | ○ | 1 |
| れたす | | | | | | | 1 |
| むかご | | | | | | | 1 |
| やまいも | | | | | | | 1 |
| くりたけ | | | | | | | 1 |
| る | | | | | | | 1 |
| ぱせり | | | | | | | 1 |
| やれもん | | | | | | | 1 |
| にんにく | | | | | | | 1 |
| さらつきよう | | | | | | | 1 |
| ねぶかねぎ | | | | | | | 1 |
| はねぎ | | | | | | | 1 |
| にら | | | | | | | 1 |
| ごぼう | | | | ○ | | | 1 |
| さといも | | | | ○ | | | 1 |
| おくら | | | | | | | 1 |
| ぐりーんぴーす | | ○ | | | | | 1 |
| あすばらがす | | | | | | | 1 |
| はーぶ | | | | | | | 1 |
| さやいんげん | | | | | | | 1 |
| しだとう | | | | | | | 1 |
| あかかぶ | | | | | | | 1 |
| ぶろっこり | | | | | | | 1 |
| めきやべつ | | | | | | | 1 |
| はくさい | | | | | | | 1 |
| すいか | | | | | | | 1 |
| 種類 | 2 | 12 | 1 | 14 | 1 | 5 | 108 |

3. 『やさい』というタイトルの絵本

表4 〈やさい絵本〉をみてもわかるように、野菜をテーマにした絵本は多数存在する。その中で『やさい』という同一タイトルをもった本が4冊存在する。

- 〈幼児絵本シリーズ〉平山和子, 文・絵 1977年 福音館書店
- しろたにひでお著 1992年 文化出版局
- 〈あかちゃんずかん〉わらべきみか作 1993年 ひさかたチャイルド
- 〈たんぽぽえほんシリーズ〉川上越子, 作・絵 1995年 鈴木出版

の4冊である。ここでは私の手元にある、平山和子・川上越子作の絵本を比較し、野菜について考えてみたい。絵本のタイトルに野菜と命名しているくらいであるから、野菜そのものを象徴して作品化されているのではとの前提をもっての比較である。

川上『やさい』の場合は、表・扉・裏びょうしに登場する野菜は本文中の展開にも登場してくるが、平山『やさい』の場合は、表・裏びょうしにててくる野菜が、本文中の展開にててこないものもある。しかし、それらを含めて、両者に共通する野菜は、にんじん、とまと、きゅうり、ほうれん草、じゃがいも、なす、さつまいも、かぼちゃ、大根、ピーマンの10種類の野菜である。このことは表3 〈学生のしっている野菜と絵〉をみてもわかる。学生へと問い合わせた。

- 自分のしっている野菜名その中から1点絵に表現してみたい野菜
- 絵本の表びょうしを考えての野菜

において、次のような野菜

にんじん、とまと、きゅうり、なす、さつまいも、かぼちゃ、ピーマンの7種が共通したものとしてあげられた。

のことからみても、平山和子・川上越子の両者が『やさい』というタイトルの基、作品化した野菜は妥当といえる。また、この両作品は同じ『やさい』というタイトルであるが、当然のこととして描こうというものに違いがみられる。それらを整理してみると、次のようなことがいえる。

絵本『やさい』

| | |
|----------------------|--|
| 平山和子 (1977年福音館書店) | <ul style="list-style-type: none"> • 畑と八百屋さんにいる時の野菜 • 人の目で見る食べるさいの野菜という感じの絵 • 現実的 最後の場面 《やきいもにして 「いただきまーす」》 • 本文中に だいこん、きやべつ、とまと、ほうれんそう、さつまいも |
| 川上越子 (1995年鈴木出版) | <ul style="list-style-type: none"> • 生きている野菜 • 野菜からみた野菜の日常という感じの絵 • 物語的 最後の場面 《よるになっておわらない だからな このはたけさらさらおとがする》 • やさいのたね えんどうまめ、みにとまと、きゅうり、ピーマン、ほうれんそう、だいこん、にんじん、ごぼう、じゃがいも、さといも、さつまいも、かぼちゃ、なす、とうもろこし |

ということであれば、出来れば作品名も、川上越子が1995年の作品化であるので、『やさい』という命名以外を考えてほしかったと思うしたいである。

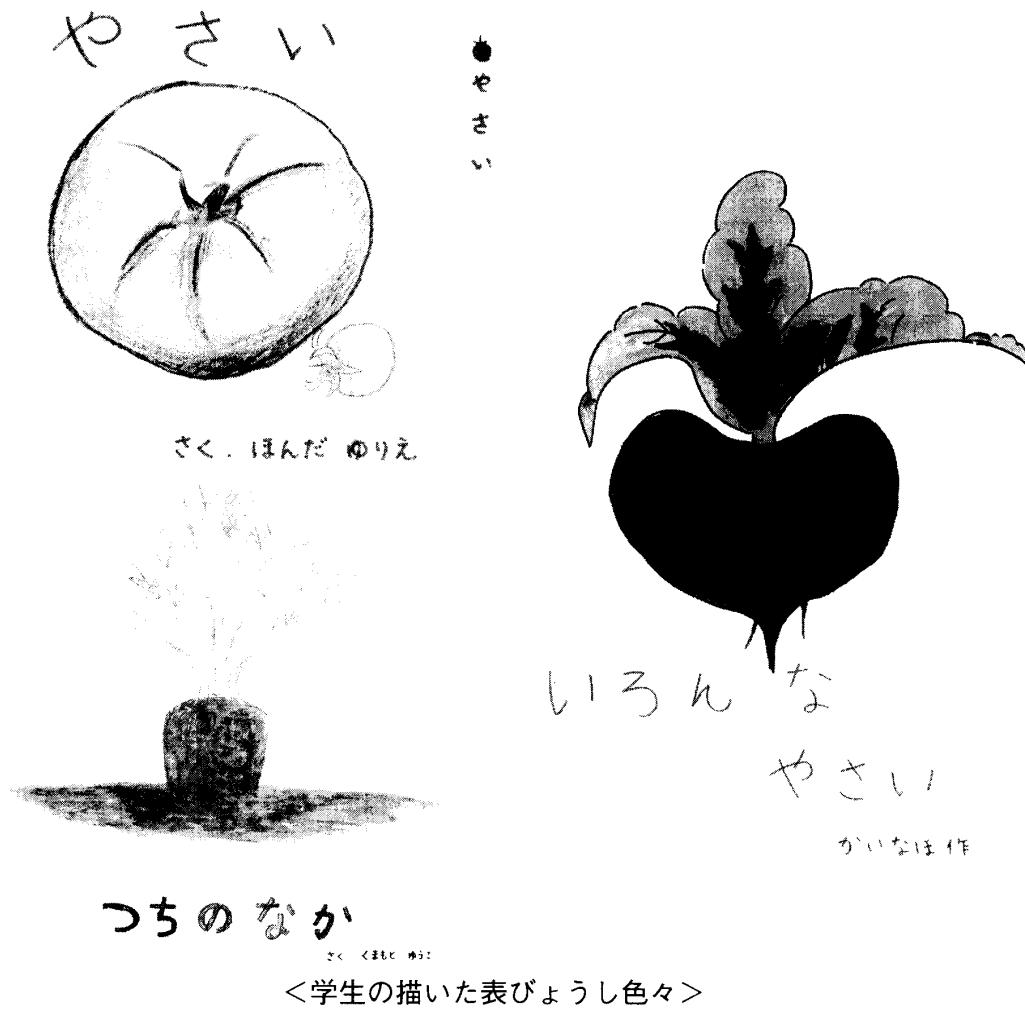
4. 学生による絵本命名と野菜

学生が野菜をどのように認識しているかを知る上で、表5「絵本の命名と野菜」からも指摘することができる。

表5 絵本の命名と野菜

| 野菜名 | 絵本のタイトル | 学生数 |
|------------------------------------|--|------------|
| とまと | とまとおやこ、とまと（3人）、トマト（3人）、とまと！、まっかなとまと、トマトちゃん、とまとのキモチ、やさいのきせつ、やさい（2人）、やさいのおやこ、タイトルなし（1人） | 16人 |
| なす | なす・ナス、なすび、なすなすび、ナスピの世界、なすびのへんしん、なすびのきょうだい、なすのなかまたち、すべて、やさいたち、やさいのそだち | 10人 |
| にんじん | 1ほんでも！にんじん、にんじん、いっぱいやさい、やさいだいすき、やさいさんきみはだれ!?, はたけ | 6人 |
| かぼちゃ | かぼちゃ、カボチャ、やさい畠、ヤサイのナカミ、やさい | 5人 |
| すいか | スイカ、スイカって、色々スイカ、そだち、わってみて | 5人 |
| ピーマン | ピーマン（2人）、ピーマンすき？ ピーマン畠で ^{はたけ} | 4人 |
| しいたけ | シイタケす～き、きのこ | 2人 |
| ぐりーんぴーす | おまめさん | |
| たまねぎ | トンガリタマネギ | |
| かぶ | かぶ | |
| さつまいも | ふつくらさつまいも | |
| へちま | へちま | |
| ねぎ | ネギ | |
| たけのこ | コレコレダレノコ？ | |
| 野菜 一種ではなくたくさんの野菜を 登場させてかかる表紙 | つちのなか（表にんじん、裏にんじん、だいこん、あかかぶ、さといも、じゃがいも、さつまいも） これどんなあじ（表にんじん、裏きゅうり） いろんなやさい（表あかかぶ、裏ぐりーんぴーす） やさいいっぱい（表ぐりーんぴーす、とまと、ぐりーんあすばらがす、裏ぴーまん） やさい（表きゅうり、裏れたす、とまと、きゅうり） やさいのしま（表とまと、裏すいかの舟の中にとまと、にんじん、じゃがいもが乗っている。旗になす） やさいのほん（表かいわれだいこん、裏かいわれだいこん、だいこん、にんじん、きゅうり、ぴーまん、とまと） やさいへんしん（表ほうれんそう、裏とうがらし、なす） はたけのやさい（表なす、裏きゅうり、なす、ぴーまん、たまねぎ、にんじん） | 1人ずつ 7人 |
| | | 9人 |

- とまとをとりあげた絵本表紙のタイトルの中にも、「やさい」とのタイトルが2人、「やさいのおやこ」が1人
 - かぼちゃの絵本表紙タイトルの中にも、「やさい」「やさい畑」「ヤサイのナカミ」
 - なすの中にも
「やさいたち」「やさいのそだち」
 - そして、にんじんにも
「いっぱいやさい」「やさいだいすき」「やさいさんきみはだれ!?」「はたけ」
- のタイトルが命名された。このことは、とまと・かぼちゃ・なす・にんじんを、野菜の代表とした上で絵としてとりあげ、かつ絵本の命名も野菜総体を表現するものとなっているようである。



以上、野菜をめぐっての絵本・紙芝居を分析してみると、一つの傾向を見出すことができた。
(表4・6 参照)

- 物語性の高い作品・科学絵本は、野菜の種類を限定してゆく傾向がみられ
 - 野菜といったら、作家の間でもかなり限定されたものとの認識がある。
- それゆえに、かぼちゃ・とまと・たまねぎをとりあげた『たまねぎ』『かぼちゃ』『トマトのひみつ』のような絵本もある。

表6 やさい紙芝居と野菜

| 作 品 名 | にんじんさん だいこんさん ごぼうさん | なんだろう？ | だいこんのとこ やさん | やさいクイズ これなーんだ!? | にんじんにんじ んにんにんまる | やさいペット |
|---------|---------------------------|-----------|-------------------|---------------------------------|--------------------|--------|
| 絵・画 | 瀬名恵子 (はり絵) | やべみつのり | 瀬名恵子 | (写真)和南城勝 美ネイチャーブロ (画)山本省三 | 山本省三 | 宮本えつよし |
| 文・脚色・脚本 | 川崎大治 | 桜井信夫 | 堀尾青史 (原作・村上篠子) | (製作) 教育画劇 | 山本省三 | 宮本えつよし |
| 発刊年 | 1971.5.5 | 1991.1.20 | 1991.1.20 | | 1994.11. | |
| 場面数 | 8 | 12 | 8 | 12 | 12 | 12 |
| 出版社 | 童心社 | | | 教育画劇(やさいとなかよしへんきなこ)全6巻 | | |
| にんじん | ○ | ○ | ○ | | ○ | |
| だいこん | ○ | ○ | 父子 | | | ○ |
| かぼちゃ | | ○ | | ○ | | ○ |
| きゅうり | | ○ | ○ | ○ | | ○ |
| とまと | | ○ | | ○ | | ○ |
| びーません | | | | ○ | ○ | |
| なす | | | なすび | | | ○ |
| じゃがいも | | ○ | | | | |
| たまねぎ | | | 父子 | | | ○ |
| さつまいも | | | | | ○ | |
| ごぼう | ○ | | | | | |
| とうもろこし | | ○ | ○ | ○ | | |
| はくさい | | | | | ○ | |
| きやべつ | | | | ○ | | |
| れたす | | | | | | ○ |
| ぶろっこりー | | | | | ○ | ○ |
| ほうれんそう | | | | | ○ | ○ |
| りんご | | ○ | | ○ | | |
| ぶどう | | ○ | | | | |
| ねぎ | | | | | | |
| ぐりーんぴーす | | | | | | |
| だいす | | | | | | |
| あすばら | | | | | | ○ |
| にら | | | | | ○ | |
| えだまめ | | | | | | ○ |
| せろり | | | | | | |
| あかかぶら | | | | | | |

| 作品名 | スーパーべいべー ベジ太くん | いぱりんぼのパン プクン | やさいなんてだい きらい | ぼくたちのだいこ ん | やさいむらのうん どうかい | 野菜種 |
|---------|------------------------|-----------------|-----------------|---------------|------------------|-----|
| 絵・画 | はたよしこ | 田中秀幸 | 鈴木びんこ | 高橋透 | しばはらち | |
| 文・脚色・脚本 | はたよしこ | 中村美佐子 | 丘修三 | 丘修三 | しばはらち | |
| 発刊年 | 1994.11. | | | 1995.11. 1 | 1995.12.22 | |
| 場面数 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | |
| 出版社 | 教育画劇（やさいとなかよしげんきなこ）全6巻 | | | 童心社 | 教育画劇 | |
| にんじん | ○ | | ○ | | ○ | 7 |
| だいこん | | | | ○ | ○ | 6 |
| かばちゃ | | ○ | ○ | | ○ | 6 |
| きゅうり | | | | | ○ | 5 |
| とまと | ○ | | | | ○ | 5 |
| ぴーまん | | | ○ | | ○ | 4 |
| なす | | | | | ○ | 3 |
| じゃがいも | | | ○ | | ○ | 3 |
| たまねぎ | | | | | ○ | 3 |
| さつまいも | | | ○ | | ○ | 3 |
| ごぼう | | | ○ | | ○ | 3 |
| とうもろこし | | | | | | 3 |
| はくさい | | | | | ○ | 2 |
| きやべつ | | | | | ○ | 2 |
| れたす | ○ | | | | | 2 |
| ぶろっこりー | | | | | | 2 |
| ほうれんそう | | | | | | 2 |
| りんご | | | | | | 2 |
| ぶどう | | | | | | 1 |
| ねぎ | | | | | ○ | 1 |
| ぐりーんぴーす | | | | | ○ | 1 |
| だいす | | | | | ○ | 1 |
| あすぱら | | | | | | 1 |
| にら | | | | | | 1 |
| えだまめ | | | | | | 1 |
| せろり | ○ | | | | | 1 |
| あかかぶら | ○ | | | | | 1 |

5. 野菜と保育環境

子どもと野菜の関係を近づけるために、たしかに野菜絵本や野菜紙芝居もある。しかし、野菜を実際に知ることとともに、育てる・作る・食べてみるという行為も並行しておこなわれることがのぞましいだろう。

宮崎県内で、園の畑をもち栽培している野菜をあげてみると、さつまいも、とまと、みにとまと、きゅうり、なす（なすび）、じゃがいも、とうもろこし、えだまめ、えんどうまめ、ピーまん、かぼちゃ、にんじん、すいか、米（1997年前期受講生より）と意外と多彩である。種を植え、水・肥料をやり、草取りをし、そして収穫する。この一連の行為をとおしての野菜認識あった上での絵本・紙芝居との出会いでありたい。そして自分達が丹精をこめて作った野菜を食べるということになれば、野菜嫌いな子そして嫌いと思い込んでいる子も、つい手をだしてしまうかもしれない。

野菜を、絵本や紙芝居をとおして知ることも大切だが、育てる・作る・食べるということも並行してと思うのである。1997年6月幼稚園実習で、そのような体験をした学生が、次のような報告をしてくれた。

〈私が実習を行った幼稚園では、畑でやさいを作っていました。さつまいもとミニトマト、ナスビ、ピーマン等を育てていました。さつまいもは年長児が植えたということで、子ども達はどう育っていくかをとても楽しみにしているようでした。またミニトマトとナスビとピーマンはあまりたくさんは育てていませんでしたが、ちょうど今の時期が収穫時期で年少児が収穫して大切に家に持ち帰っていました。最近は自分の家で野菜を育てるという家庭が少なくなってきたので、子ども達は野菜がどのように育っていくのかをあまり知りません。幼稚園で野菜を育てることは、育ち方を知らない子ども達にとって植物の大切さを知る上でとてもいい事だと感じました。また感性を豊かにするためにも生き物を育てることはいいと言ふことなので、野菜を育てることはいいことだと感じました。私が行った幼稚園は弁当なので、野菜が十分に入っていることはあまりありませんでしたが、保護者の方も好き嫌いがなくなるように野菜を工夫して弁当に入れており、子ども達も頑張って食べていました。幼稚園で何らかのかたちでやさいと関わることは、子どもの成長にとっても大切なことだと感じました。〉

この報告に、野菜と園・園の菜園そして家庭の1つのあるべき姿が表現されているように思う。

6. 野菜と保育

以上、野菜を紙芝居・絵本そして学生の意識から検討してきた。野菜と保育の関係を考えると、私たち大人が準備できる循環もあるようである。その循環とは、

園で菜園をつくる（土づくり）→種をまく→育てる→収穫する→食べる（意識して野菜を必ずもって来・食べる野菜の日を設定して試みるのも1つの形）←野菜をしる（その1つの素材としての、たくさんの絵本・紙芝居群を活かす）

である。保育を具体化するのは子どもそのものであるが、その前に環境をどう構成していくかという保育者そのものが問われてくるのはいうまでもない。本考では、「野菜と保育」の実現を、1997年前期の授業をとおして考えてきたことを報告してみたしだいである。

[1998年11月30日受理]